

# 韮崎市議会 韮崎駅前施設「旧ルネス」 利活用調査特別委員会 中間報告書

平成21年5月29日に開催された平成21年第1回臨時会において設置された、韮崎市議会韮崎駅前施設「旧ルネス」利活用調査特別委員会のこれまでの調査、研究の結果を中間報告いたします。

## 1 委員会の構成（10名）

委員長	清水 一	副委員長	秋山 泉
委員	神田 明弘	委員	矢崎 六彦
委員	清水 正雄	委員	石井 錦一
委員	一木 長博	委員	岩下 良一
委員	小林 伸吉	委員	西野 賢一

## 2 調査研究の経過

当委員会では、市で行った市民アンケートなどについて状況把握をするとともに、旧ルネスの細部にわたる現地調査や、長野県岡谷市など他自治体の大型店撤退後の施設の現状や利活用の状況について視察を行うとともに、議会としてこの問題にどう取り組んで行くのかなどについて、これまで7回の委員会を開催し、調査、研究を重ねてまいりました。

## 3 調査研究の中間報告

市民アンケートの結果やこれまでの調査、研究を踏まえ、当委員会としては

- (1) 旧ルネスについては、市が取得すべきであるという意見が多数を占め、次のような意見が出されました。
  - ① 土地の取得については、不動産鑑定士による鑑定価格を基本に、市場性（現在の一般的な不動産の売買状況等）も考慮する中で、適正な価格で取得すべきである。
  - ② 建物は、取り壊し更地にしてから取得すべきという意見もあるが、再利用すべきという意見が大半を占めているところである。  
なお、建物を取得する場合は無償で譲り受けられるようにすべきである。
- (2) 取得後については、市民から要望書も提出され長年の懸案事項であり、市民アンケートの結果でも上位となった、図書館を中心とした複合施設として利用することが望ましい。という意見が大半を占めました。  
また、まちなか商店街との一体的活性化が図られるような計画も検討すべきである。という意見が出されました。

- (3) 建物を再利用する場合について、次のような意見が出されました。  
改修して再利用する場合は、市の財政状況を考慮し、莫大な事業費を充てることのないように努め、補助金の活用など綿密な資金計画や事業計画に基づき、事業の執行に努めるべきである。  
また、ランニングコストが極力抑えられるような利用の検討を図るべきである。

#### 4 現状での課題

課題として、次の意見が出されました。

- (1) 現行の建物を再利用する場合と更地にして新築するという場合の双方について、事業費のシュミレーション等を行い、調査、研究の判断材料とする必要がある。  
(2) 施設の利用内容については、市民アンケートも参考に、今後、調査研究していく必要がある。

#### 5 今後の特別委員会のあり方

当委員会は、施設の利用内容の決定時期等まで継続して調査研究していくこととし、閉鎖の時期は状況により判断することとしました。

上記のとおり、韮崎市議会韮崎駅前施設「旧ルネス」利活用調査特別委員会の審査結果を、韮崎市議会会議規則第45条第2項の規定に基づき報告します。

平成21年9月10日

韮崎市議会議長 望月正澄 殿

韮崎市議会韮崎駅前施設「旧ルネス」  
利活用調査特別委員会委員長 清水 一